

## 災害時における要援護者の避難体制整備にかかる課題 (災害時における要援護者の避難体制整備にかかる関係団体等ヒアリング調査から)

### 1. 実施した調査の概要

#### (1) 趣旨

要援護者の避難について、東日本大震災における課題をふまえ、本県においても災害発生に備え、避難体制を早急に整備していく必要があることから、災害時要援護者の当事者組織の不安や意見等を把握し、障害や疾病等に応じた要援護者の避難体制整備を進めるうえでの課題整理を行った。

#### (2) 調査実施主体

滋賀県社会福祉協議会（県委託事業）

#### (3) 調査実施時期

平成 24 年 5 月～7 月

#### (4) 調査対象団体（団体名一部略称あり）

認知症の人と家族の会、がん患者団体連絡協議会、  
身体障害者福祉協会、視覚障害者福祉協会、聴覚障害者福祉協会、  
手をつなぐ育成会、しが盲ろう者友の会、精神障害者家族会連合会、  
障害児・者と父母の会、脊椎損傷者協会、ろうあ協会、  
中途失聴難聴者協会、腎臓病患者福祉協会、オストミー協会、  
湖声会、難病連絡協議会、脳卒中友の会、肢体障害者の会「みずのわ」、  
ことばを育てる親の会、自閉症協会、自閉症研究会たんぽぽ、  
LD 親の会トムソーヤ、スモンの会、重症心身障害児者を守る会、  
断酒同友会、びわこハーネスの会、母子福祉のぞみ会

#### (5) ヒアリング事項

災害発生への備えの状況、不安に感じていること  
災害時における課題と課題解決のための提案

### 2. 災害発生時の生活（生命）維持に関する不安

#### (1) 避難に関して

情報入手やコミュニケーションへの支援はされるか？

- ・聴覚障害者...手話ができない人も多い。防災無線は聞こえない。  
マスクをしていると口元がみえない。
- ・視覚障害者...点字がわからない人もいる。

逃げることができるか？

- ・情報入手の困難、移動の困難、身体的精神的負担
- ・不安、パニック、気がねやあきらめによる避難拒否

#### (2) 避難生活に関して

避難所等で障害特性に応じた個別の配慮がされるか？

- ・障害や疾病に応じた必要な配慮（支援）を求めることの困難さ
- 避難所の中、仮設住宅は移動しやすいか？
- ・歩行困難者、車いす利用者、視覚障害者の移動

避難所のトイレは使えるか？

- ・車いす利用者、オストメイト、介助者

医療機器、用具、医薬品が確保できるか？ 定期治療ができるか？

- ・電源が確保できなかったら？
- ・薬や用具、機器を持ち出せなかったら？持ち出し分がなくなったら？
- ・通院できなくなったら？

### 3. 要援護者の避難支援にかかる課題

(1) 地域内における支援関係づくり、要援護者支援にかかる地域住民の理解促進

- ・当事者自らの関係づくり
- ・地域（自治会、小学校区等）での平常時からの交流と学習
- ・要援護者の特性に応じた「配慮」の理解、「公平」の正しい理解
- ・避難所運営支援に携わる地域人材の育成（福祉的対応力の向上）

(2) 避難にかかる要援護者の特性に応じた配慮や支援の確保

- ・情報伝達にかかる配慮や支援
- ・移動にかかる配慮や支援

提案) 災害を想定した地域ぐるみ避難訓練の定例実施

- ・指定避難所の周知、福祉避難所の周知
- ・情報支援や移動支援等の必要性和方法を実感
- ・災害時の対応についての理解促進「正しく恐れるための学習」  
（当事者グループでの学習、地域ぐるみの学習）

(3) 避難所における医療的福祉的配慮の確保

- ・ケアスペース（パーソナルスペース）
- ・安心して安全に利用できるトイレ
- ・医薬品、医療機器、福祉用具、ケア用品、配慮された食事
- ・電源

(4) 災害時対応ができる専門的人材の確保、専門職間連携、地域との協働

- ・支援ニーズを的確に把握するための医療、保健、福祉など専門職チームによる巡回相談や診察等
- ・入院ができない場合を想定した医療サポート
- ・福祉避難所運営に携わる人材の確保

(5) 広域での福祉避難体制整備

- ・専門的支援ができる避難所の整備にかかる広域調整、整備促進

支援を要する人々（本人や家族、支援者）の多くが、配慮があれば一般避難所でよいと考えている。しかし、非常時で多くの人々が混乱や不安を抱えるなか、「支援」の必要を口に出せないのではないかと感じている。気がねや不安から避難を拒否する要援護者の姿が岩手や宮城、福島からも伝えられた。福祉避難所が専門職不足で機能できない事例も伝えられた。

避難所のハード整備とともに、専門的に支援する人の確保、運営支援者（行政、住民、ボランティア）の意識と理解が何よりも重要であることが、ヒアリングにより改めて明確になった。